

I. 教育課程および単位制度

1. 教育課程

生命科学部の授業科目は、**教養系科目**と、**専門教育科目**からなり、これらの科目を4年に配当して授業を実施しています。卒業して学士の学位を得るためには所定の授業科目の単位を修得しなければなりません。卒業するために必要な単位数およびこの内容に関する規定は極めて厳格なものであり、この「履修の手引き」を熟読し、誤りのないように十分注意してください。

また、教育職員・図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員等の資格取得志望者のために、教職・資格に関する科目が設置されています。

2. 単位制度

本学における教育課程は、すべてに単位制度が採用されています。単位制度とは、所定の授業科目の履修を終了し（所定の期間を受け終わること）、平素の学習・出席状況および試験・レポート等による成績評価の結果、合格することによって、その授業科目に与えられている単位を修得していく制度です。また、特定条件を満たすことにより単位が認定される科目もあります。

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を自習も含めて45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、大学設置基準第二十一条に則り計算するものとします。

(1) 毎週1回14週の授業で1単位の場合は1時間の授業時間外学習を必要とする。

(2) 毎週1回14週の授業で2単位の場合は4時間の授業時間外学習を必要とする。

3. 卒業所要単位および修業・在学年限

本学部を卒業し学士（生命機能学科：生命科学、環境応用化学科：理学、応用植物科学科：生命科学）の学位を得るためには、4年以上（最高8年）在学し、各学科の定める単位数を修得しなければなりません。各学科の定める要件については、本書の各学科の案内を確認してください。

卒業所要単位 ※詳細は必ず各学科のページで確認してください。

科目系列		必要単位数		
教養系科目	英語科目	8 単位	計 32 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)	計 124 単位以上
	教養科目	24 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)		
	理系教養科目			
専門教育科目	学部共通科目	80 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)		
	学科共通科目			
	学科専門科目			
	専修専門科目			
自由選択科目		12 単位以下		
教職・各資格関係科目		卒業所要単位には含まれません		

生命科学部

■各科目の卒業所要単位・GPA・CAP への適用一覧表

開講されている科目のほとんどは、以下のいずれの制度にも適用されます。しかし、一部の科目において例外もしくは分かりにくい点がありますので以下の表に示します。

対象科目の履修を検討している場合は必ず確認してください。

科目（制度）名		卒業 所要 単位	GPA 制度	履修 単位 制限 (CAP) 制度 注1	備考
教養系科目	入門数学・入門物理学 入門化学・入門生物学	対象外	対象外	対象外	
	英語資格試験準備講座 (単位認定制度による「RR」評価の場合)	対象	対象外	対象	対象者には個別に連絡します。 単位認定制度については P15 を参照してください。
	SA プログラム（認定科目）	対象	対象外	対象外	
自由選択科目	ERP 科目	対象	対象	対象	履修できるのは 12 単位までですが 各科目・分野ごとに科目数、単位数の 制限があります。こちらも「履修の手 引き」P10～P11 で確認してください。
	短期語学研修・国際ボランティア・国際インターシップ・	対象	対象外	対象外	
	グローバル・オープン科目 数理・データサイエンス・AI プログラム SDGs 科目 社会連携科目 他学部公開科目	対象	対象	対象	
日本語教育プログラム（JLP）		対象外	対象外	対象	詳細は、グローバル教育センターが別途案内する別紙で確認してください。
成績優秀者 他学部科目履修制度		対象外	対象外	対象外	対象者には個別に連絡します。年間 8 単位までです。履修については諸注意があります。「履修の手引き」P89 で確認してください。
交換留学生受入れプログラム（ESOP）		対象外	対象外	対象外	履修登録期間に登録します。
大学院先取り科目		対象外	対象外	対象	大学院進学後、修了所要単位・累積 GPA に算入されます。
教職・資格科目		対象外	対象外	対象外	詳細は「教職課程履修の手引き」で確認してください。

注1: 履修単位制限(CAP)制度では、春学期秋学期各々について30単位、年間の合計が49単位を超えて履修登録することはできないと定められています。

3. 進級要件・卒業要件、履修上の留意点（2020 年度以降入学者用）

進級・卒業するためには、以下の要件を1単位も漏らすことなく、すべて満たさなければなりません。また、該当学年の進級要件だけを満たすのではなく、卒業にむけて計画的な履修計画を立てることが大事です。

		教養系科目			専門科目	自由選択科目	合 計
		英語科目	教養科目 (人文・社会 ・自然科学系・ 保健体育系・ 選択語学系 リテラシー系)	理系教養 科目 (数学系・ 理科系)	学部共通科目 学科専門科目		
1 年 次	2年への 進級要件				主要専門科目12単位以上（必修科目を8単位以上含めること）		34単位以上
	履修上の 留意点	・40単位以上の修得を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。					
2 年 次	3年への 進級要件				主要専門科目36単位以上（応用化学基礎を含む必修科目を20単位以上含めること）		74単位以上
	履修上の 留意点	・1年次修得単位と2年次修得単位の合計として、80単位以上を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。					
3 年 次	4年への 進級要件	8単位		14単位以上	主要専門科目42単位以上（応用化学セミナーを含む必修科目を36単位以上および専門実験科目を8単位以上含めること）		116単位以上
	履修上の 留意点	・1－2年次修得単位と3年次修得単位の合計として、120単位以上を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。					
4 年 次	卒業要件	8単位	24単位以上		80単位以上 (必修44単位を含む)	計12単位以下	124単位以上

※ 卒業要件について：英語科目の8単位、教養科目・理系教養科目の合計24単位と、専門科目の合計80単位の修得だけでは、合算が卒業要件の124単位を満たすことができません。したがって、さらに12単位分を教養科目・理系教養科目・専門科目・自由選択科目から修得してください。

※ 以下の専門実験科目は卒業研究を行う上で必要不可欠な知識・技能を修得するものです。卒業研究までに全て修得していない場合、卒業研究の単位取得が困難になります。

基礎応用化学実験、応用化学実験 IA、応用化学実験 IB、応用化学実験 IIA、応用化学実験 IIB

※ GPA の低い学生には、進級留級にかかわらず、保証人への連絡および本人に対する履修指導を行います。また留級生は、上級学年の配当科目を履修することはできません。

主要専門科目について

必修の専門科目すべて、および1，2年次に配当されている学科主催の下記の専門選択科目を主要専門科目と定義しています。

グリーンケミストリ、化学熱力学演習、コンピュータ利用化学、応用化学数学演習、有機化学演習Ⅰ、有機化学演習Ⅱ、環境安全化学、機器分析学、物理化学演習、物質構造化学、分析化学、応用環境化学、物理学概論Ⅰ・Ⅱ（2022 年度以前入学生対象）